

妊娠関連性乳癌(PABC)の病理組織に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2017年6月7日 ~ 2022年3月31日

〔研究課題〕

妊娠関連性乳癌(PABC)の病理組織における SIRT1、DBC1 の発現の解析

〔研究目的〕

妊娠関連乳癌は非常に稀な疾患で予後不良と言われていますが未だ解明されていないのが現状です。そこで病理組織の免疫染色を行うことで妊娠関連乳癌の分子生物学的理解を深めることを目的としています。

〔研究意義〕

妊娠関連乳癌の発生のメカニズムの解析の一端を解明することに繋がる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

手術後に当院病理部で保管されている2005年から2017年12月31日までのPABC症例の検体について、すでに明らかとなっている年齢、進行期といった臨床情報やエストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2、Ki67の発現、リンパ節転移や病気分類、核異型度と、新たに染色したSIRT1、DBC1の発現に相関関係がないか統計的に検索します。本研究の実施については帝京大学医学部産婦人科学講座・講師平池春子です。また、免疫染色やデータ解析には当院病理学講座、病理部が関与します。

〔研究機関名〕

帝京大学 産婦人科学講座、外科学講座(乳腺外科)、病理学講座、病院病理部

〔個人情報の取り扱い〕

試料は研究終了後、5年間(承認後~2027年3月31日)において帝京大学医学部産婦人科学研究室に保管します。患者様の氏名、IDは研究固有の番号をつけて管理(匿名化)しますので、あなたを特定する個人情報が外部に漏れる心配はありません。試料・情報の管理についての責任は産婦人科学講座平池春子とします。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

研究責任者:医学部産婦人科学講座講師 平池春子

住所:〒173-0003 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 7214]